

今治綿織物業関連資料所蔵一覧(雑誌資料)

今治の繊維工学(綿業・紡績業・綿織物・タオルなど)、染色業などの雑誌の所蔵リストです。

～ お知らせ ～
郷土関係の雑誌資料です。
貸出については、お問い合わせください。
なお、複写サービスもありますので、お問い合わせください。



書名	著者名	出版社	刊行頻度	種類	所蔵状況	備考
タオルレポート		タオルレポート社	週刊	レファレンス雑誌	2012年4月4日号～	
繊維科学		日本繊維センター	月刊	レファレンス雑誌	2009年3月～	
繊維トレンド		東レ経営研究所	月刊	レファレンス雑誌	2003年5月～	
日本紡績月報	日本紡績協会	日本綿業技術・経済研究所	—	—	689号～700号	廃刊のため合本

綿の花:あおい科



綿が日本で初めて栽培されたのは延暦十八年(七九九年)。本格的な栽培は江戸時代。日本は世界的なワタの生産国の一つであった。

和名由来:①衣類などの中に詰めるため、ワタ(腸)の意から。②アタタカ(温)の略転③仁徳天皇の頃、百済から帰化した人々がつくった絹綿がハダ(肌)にやわらかい感触であったため、ハタ(秦)という姓を賜ったところから、など諸説ある。

しらぬい 筑紫の綿は 身に付けて
いまだ着ねど 暖けく見ゆ (沙弥満誓:万葉集巻3-336)

綿取りや犬を家路に追い帰し (与謝蕪村)
船著きの小さき廓や綿の花 (正岡子規)
玉造出て野稻荷や綿の花 (河東碧梧桐)



綿花

(参考文献:図説花と樹の大事典 植物文化研究会・雅麗 柏書房 1996年)